

令和5年度 第1回 明浜小学校学校評価アンケート集計結果

評価について・・A当てはまる Bやや当てはまる Cやや当てはまらない D当てはまらない 達成率=(A×4+B×3+C×2+D)/(A+B+C+D)/4×100

項目番号	対象	アンケート項目	A	B	C	D	?	達成率	前回
1	教	保護者や地域と連携・協力した教育活動に取り組んでいる	8	1	0	0	0	97%	75%
	児	地域の方や家の人といっしょに学習することができた	53	25	9	1	0	87%	91%
	保	学校は、保護者や地域と連携・協力した教育活動に取り組んでいる	16	39	4	0	2	80%	78%
	分析改善	各学年で、保護者や地域と連携した教育活動に取り組んでいる。児童の認識は低くなっているが、今年度の活動については、コロナ禍以前に戻ってきている。今後も、保護者や地域と連携した教育活動に努めていきたい。							
2	教	児童は、学校に行くのを楽しみにしている	5	4	0	0	0	89%	
	児	学校でみんなと学習したり、遊んだりするのが楽しい	76	11	1	0	0	96%	
	保	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている	19	37	4	0	1	81%	
	分析改善	今年度からの新しい項目である。教職員、保護者の割合が80%台であるが、児童は、ほぼ楽しいと答えている。今後は、100%に近づくよう「学ぶことが楽しい、学校へ行けば楽しいことがある」と児童が思うような教科指導や雰囲気づくりに努めたい。							
3	教	児童の学習意欲を高め、主体的に学習する態度の育成を図っている	5	4	0	0	0	89%	81%
	児	自分から進んで授業や家庭学習に積極的に取り組んでいる	44	36	8	0	0	85%	86%
	保	子どもは、自分から進んで学習に取り組んでいる	8	35	17	1	0	70%	73%
	分析改善	1人1台端末を中心に、ICT機器の活用や教材研究に力を入れている。また、ペアやグループ学習を授業に取り入れ、発表の場の設定に努めている。個に応じた声掛けを行い、どの児童にも分かる授業を心掛けた。しかし、児童の達成率が下がっている。今後は、児童が自信を持って取り組めるよう教職員一人一人が授業の見直しを行いたい。							
4	教	家庭学習習慣の定着・向上に努めた	4	5	0	0	0	86%	84%
	児	決められた時間の家庭学習をしている（低30分、中45分、高60分）	52	31	5	0	0	88%	88%
	保	学校は、家庭学習習慣の定着・向上に努めている	10	44	4	0	3	78%	79%
	分析改善	特に大きく達成率が変わっていない。学校では、「家庭学習・生活調べ」を通して、家庭での学習や生活について指導している。児童の調査の「C」の評価は、謙虚に反省した結果ではないかと考える。学校での取組や「家庭学習・生活調べ」の結果を保護者に伝えることも大切である。							
5	教	読書意欲の向上に努めた	5	4	0	0	0	89%	81%
	児	目標とするページをめざして読書をしている	48	28	8	4	0	84%	85%
	保	子どもは、学校や家庭でよく読書に取り組んでいる	12	34	12	2	1	73%	75%
	分析改善	読書活動では、児童へ積極的に声掛けを行っている。図書室の本も少しずつではあるが増やしている。また、あけはま座さんに協力していただき市立図書館の本の入れ替えを行っている。全体的に児童は、時間を見つけて読書活動に励んでいる。家庭でも読書をするよう声掛けをしてほしい。							
6	教	主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善に努めた。	3	5	1	0	0	81%	75%
	児	先生の授業はよくわかる	73	14	0	1	0	95%	96%
	保	先生は、一人一人によくわかる学習指導をしている	13	38	5	0	5	79%	79%
	分析改善	教職員の達成率がよい。児童も高い達成率を維持している。今後も教材研究を重ね、児童一人一人が高評価となるよう個に応じた指導に当たりたい。							
7	教	一人一人の児童に応じた指導・支援ができた	2	7	0	0	0	81%	88%
	児	先生は一人一人の話を聞いてくれる	71	15	1	1	0	94%	97%
	保	学校は、一人一人の話をよく聞いてくれている	16	29	8	0	8	79%	77%
	分析改善	教職員、児童ともに達成率が若干であるが低くなっている。教職員の出張や研修がもとに戻り始め、多忙となってきたようである。しっかりと個に向かう時間の確保と組織の強化に努めたい。							
8	教	いじめの早期発見・早期対応、解消に努めた	5	4	0	0	0	89%	78%
	児	いじめのない学校だと感じる	53	28	5	2	0	88%	85%
	保	学校は、いじめ防止に取り組んでいる	12	32	7	0	10	77%	75%
	分析改善	毎月の「なかよしアンケート」や教職員による教育相談、職員会議での情報交換、休み時間の児童との関わりなどを通して、いじめの早期発見・早期対応に努めている。今後も児童同士のもめ事に対しては、しっかりと話を聞き対応していく。現時点では、いじめと思われる事案や辛い思いをしている児童はいないという結果である。「C・D」と回答している児童には、個人的に話を聞き対応している。いじめと思われる内容はなかった。引き続き、アンケートや日々の児童の様子を注意深く見守り、すぐに対応する。また、全教職員で情報を共有し、家庭との連携を深める。							

項目番号	対象	アンケート項目	A	B	C	D	?	達成率	前回
9	教	お互いを思いやる気持ちを育てる教育を行っている	6	3	0	0	0	92%	81%
	児	思いやりの心を持ち、友達と仲良く生活している	70	16	2	0	0	94%	95%
	保	学校は、お互いを思いやる気持ちを育てる教育を行っている	16	35	4	0	6	80%	80%
	分析改善	教職員の達成率が大きく伸びた。教職員一人一人が意識して取り組んだ結果だと考える。「？」と解答した保護者が6名あり、学校の取組をもっと発信していく必要がある。「C」評価の保護者が、少しでも評価が「A・B」になるよう努めたい。							
10	教	道徳科をはじめ道徳教育の充実に努めた	3	6	0	0	0	83%	66%
	児	道徳の時間に学習したことは役に立つと思う	73	14	1	0	0	95%	93%
	保	学校は、道徳教育の充実に努めている	14	40	3	0	4	80%	78%
	分析改善	教職員、児童ともに達成率が伸びている。道徳科を中心に、思いやりや互いを認め合うことが十分にできている。教職員の達成率の向上は、日頃の教材研究や、授業展開で児童同士での練り合いが十分に行えたためである。引き続き、教材研究を行い、実態を考えた発問や授業実践に努めていく。また、学級通信やホームページ等を活用し、学習したことを家庭と共有していく。							
11	教	児童や保護者が相談しやすい雰囲気作りができています	4	4	1	0	0	83%	78%
	児	心配なことや悩みがあるとき、先生に相談できる	42	30	13	3	0	82%	80%
	保	学校は、児童や保護者が相談しやすい雰囲気作りができています	13	40	5	0	3	78%	78%
	分析改善	教職員の達成率は伸びている。相談しやすい雰囲気づくりに努めたと言える。しかし、児童の「C・D」、保護者の「C・？」の評価があり、相談しにくい児童、保護者がいるようだ。学級担任のみならず、教職員の誰にでも相談できる雰囲気づくりに努め、学校全体での見守りや保護者との連携を図っていく。							
12	教	挨拶と返事ができる児童の育成に取り組んだ	8	1	0	0	0	97%	88%
	児	自分から進んで、大きな声であいさつをしている	56	19	12	1	0	87%	84%
	保	学校は、挨拶と返事ができる児童の育成に取り組んでいる	15	41	1	0	4	81%	80%
	分析改善	挨拶が良くなってきている。学校だけでなく、家庭や地域でも進んで挨拶ができるよう引き続き指導していきたい。また、家庭、地域と連携を密にして取り組んでいきたい。							
13	教	命を大切にし、安全に気を付ける指導ができた	7	2	0	0	0	94%	81%
	児	自分の命を大切にし、安全に気をつけて生活している	80	8	0	0	0	98%	97%
	保	学校は、命を大切にし、安全に気を付ける指導ができています	99	9	8	7	6	91%	81%
	分析改善	大幅に達成率が向上した。教育活動全般を通しては、避難訓練や日常生活での安全面など、命の大切さについて、児童とともに考え、実践へとつなげられている。保護者の達成率も90%を超えている。							
14	教	教育目標を念頭に教育活動に努力している	5	4	0	0	0	89%	78%
15	教	温かく支え合う居心地のよい職場づくりに努めることができた	6	3	0	0	0	92%	84%
16	教	超過勤務時間の削減に努め、心身の健康管理に努めることができた	2	7	0	0	0	81%	75%

自由記述

保護者	狩浜のバス停は、カーブしており、バスの待機場所も狭いと思う。対向車が来ても見えにくく、子どもが飛び出したらとドキドキする。少し先の空き地か、地域ふれあい活動センター(公民館)の前だと安全だと思う。	市教育委員会と検討している。 変更する場合は、中学校も乗降場所が変わる。
	陸上と水泳の練習が暗黙の了解という感じで、全員がやることに疑問を感じている。「やるやらない」を選択できるようにしてほしい。苦手な子もいるので配慮してもらいたい。	強制ではない。実際に放課後の体力づくりに参加しなかった児童もいる。しかし、児童がそのような捉えているようであれば、児童への説明をもう少し丁寧に行う必要がある。学校としては、自分自身の体力の向上、頑張る強い心の育成のため、苦手なことでも挑戦する子の育成に努めている。
	去年と比べて元気がなく学校が楽しそうでない。子どもたちが楽しく学べる雰囲気づくりをしてほしい。ただしかるのではなく、一人一人みてほしい。小さなトラブルにもちゃんと対応してほしい。	児童一人一人を見守り、早々の対応に努めていく。
	HPの更新をまめにしており、どんな授業をしたか、どんな給食を食べたかが分かりやすい。 クラスの集合写真を通信に掲載してとてもよい。できれば、購入したい。購入できるシステムがあるとうれしい。	HPを毎日141名ほどの人が閲覧していただいている。非常にうれしい。今後も継続して更新していく。 写真の販売については、検討していく。
	毎朝、黒板に児童へメッセージを書いてくれていて楽しみにしているようです。いつも書いていただきありがとうございます。	非常にありがたいお言葉でうれしい。全教職員が児童のために、様々な取組をしている。今後も教職員が一丸となって児童の健全育成に努める。